



聞き上手になって相手をまず理解する

校長 見原 仁

上記の写真は、11月の全校朝会の様子です。朝会が始まろうとすると、子どもたちは静かになりました。司会の教務主任が「サーッと静かになり素晴らしいですね。」と子どもたちを褒めました。また、生活指導の話をした職員も同様に褒めていました。私もそう感じました。素晴らしい子どもたちです。

私たちは「話を聞く」場に囲まれています。家族の会話、テレビや動画を見ているときもそうです。学校では、授業、休み時間、ほぼすべての時間で担任は話を聞いています。中でも、子どもが「先生、話したいことがあるんだけど。」などと言ってきた時は、特によく話を聞くようにしています。このような時は、聞き方がとても大切です。先日、当校の職員が「話を聞くときは、できる限り子どもの話をさえぎらず、うなずきながら聞くように努めています。また、話が長いときは、『〇〇が□□したっていうことね』と話をまとめ、確認しながら聞くようにしています。」と話していました。

「7つの習慣」(スティーブン・R・コヴィー)という本には、次のように書かれています。

『聞き上手になって相手をまず理解する。そのためには、自分語りをせず、「私の話を聞いてくれた」と思わせることが必要です。』

そのためのコツは以下の4段階と示されていました。

- 1 話の中身(キーワード)を繰り返す
 - 2 話の中身を自分の言葉に置き換える
 - 3 相手の感情を反映した言葉で相づちをうつ
 - 4 自分の言葉に置き換えつつ、感情を反映する
- このことは、上記の当校の職員の話と共通点が多いです。

では、なぜ「話を聞いてくれた」と思わせることが大事なのでしょう。「聞き上手になって相手をまず理解する」と示してありますが、その根底には、「自分を理解してもらうには、まず相手を理解する」という思いがあるからです。

私たち教員の仕事は、子どもを正しい方向へ導くことです。そのために、学年や内容によっては、導くというより、教える、指導をします。しかし、それだけでは不十分です。子ども本人が、そのことを理解し、自ら言動を改善するように導くことがとても大切だからです。私たち教員、担任の思いを理解してもらうためには、まず、子どものことを理解する。「聞き上手」という教員、担任になるために、上記4つのコツを大切にいきます。その土台には、受容、傾聴、共感があり、それも大切にしています。

ご家庭でも、お子さんのお話を聞く際に、4つのコツを意識してみたいかがでしょうか。自分の思いを理解してもらうために。その方が双方にとってメリットがありますね。



ほ う な い

第7号

村上市立保内小学校

強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

FAX 0254-62-5553

school@honai.e.murakamied.jp

児童会祭り 楽しかった！



11月6日(水)、児童会祭りを行いました。学習参観でしたので、多くの保護者、ご家族の皆様からもご参加いただきました。

児童会祭りは、今年度から始めた行事です。1～6年生で編成した縦割り班で行動し、全部で10個のクイズを解きました。例えば「2年生の畑で一番とれた野菜は何でしょう」など、ある学年の子どもには答えがわかる問題が多く出題されました。その他に、フラフープくぐりやバスケットボールなどもしました。フラフープくぐりでは、各班全員が手をつなぎ、上手に体を動かして次の人へとフラフープを移動させます。チームワークよくフラフープを動かす班がたくさんありました。バスケットボールでは、低学年は、リングに近づき頑張って投げる姿と、上学年が応援する姿が見られました。PTA育成部からもご協力いただき、先生方の小さい頃の写真を見て誰かを当てるクイズをしました。また、各班で集合写真も撮りました。最後の感想発表では、「ジェスチャークイズが一番楽しかった」という声が多く聞かれました。

低学年に優しく声を掛ける高学年や、高学年と手をつないで笑顔で歩く低学年の姿が見られ、楽しく、また、和やかな雰囲気の中で児童会祭りを行うことができました。

児童会の運営委員会と、各班の6年生が一生懸命に準備や企画、当日の運営を行いました。開閉会式の司会、あいさつなど、学校の代表として立派な言動が見られました。微笑ましく、また、温かい気持ちにさせてくれた子どもたちに感謝したいと思います。

中学校の吹奏楽部を招いて音楽鑑賞会を行いました



10月29日(火)、PTA研修部主催の音楽鑑賞会を行いました。はじめに、6年生のメロディーズによる演奏が披露されました。次に、荒川中学校吹奏楽部による演奏が披露されました。最後に、メロディーズと吹奏楽部によるコラボ演奏を行いました。子どもたちは手拍子をしながら楽しく演奏を聴いていました。子どもたちから自然に「アンコール」の声が掛かるほど素敵な演奏でした。

音楽鑑賞会を企画いただいたPTA研修部の皆様、荒川中学校吹奏楽部の皆様に心より感謝申し上げます。

人権教室を行いました

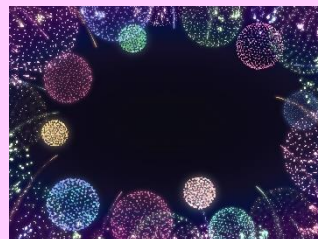


10月31日(木)、3～6年生が人権教室で学びました。授業は、村上人権擁護委員協議会の皆様から行っていただきました。5、6年生は、DVDを見て考えたことをワークシートに記入し、グループに分かれて話し合いをしました。3、4年生は、紙芝居を見て、考えたことをワークシートに記入し発表しました。誰にでも人権があり、その人権を互いに守ることが大切であることをわかりやすく学ぶことができました。貴重な学びの場を提供いただいた、人権擁護委員協議会の皆様に感謝申し上げます。

子どもたちの活躍を紹介します！

- ◎ 新大全国競書大会
 - 準特選 5年 斎藤 愛生

- ◎ 村上市花火大会 in 清流荒川絵画コンクール
 - 最優秀賞 5年 磯部まるか
 - 優秀賞 2年 星野 莉緒
 - 4年 小柳 李南
 - 入選 4年 塚野 杏奈



全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

この調査は、全国の6年生を対象に毎年実施されるものです。今年度は4月18日に実施されました。今年度の実施教科は、国語と算数でした。結果についてお知らせします。

	保内小平均	新潟県平均	全国平均
国語	60	67	67.7
算数	53	61	63.4

分析と 取組	国 語	記述式の問題に苦手意識をもっている児童が多く、誤答や無答が目立ちました。特に資料を活用して、自分の考えが伝わるように文章を書く問題では、理由や事例を資料から探すことが難しく、問題の条件に合わせて書くことに課題があることがわかりました。国語のみならず全教科で、理由や事例との関係を明確にしながらか自分の考えが伝わるように文章を書く活動に力を入れていきます。また、漢字の問題で、意味の異なる漢字を書いている児童が多く見られました。繰り返し練習だけではなく、適切な活用を求める課題を提示し、考える経験を重ねていきます。また、全学年で朝読書に取り組み、日常的に読書に親しむ習慣を身につけ、読解力の向上につなげていきます。
算 数		「図形」では、図形を構成する要素を見だし、活用することに課題が見られました。操作活動を充実させたり、図形を構成する要素に注目させたりするなど、図形に関わる数学的活動の充実をより一層図っていきます。「データの活用」では、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることに課題が見られました。データを読み取って捉えたことを伝え合う活動を意図的に設定し、児童が必要なデータを読み取れているかを確認しながら学習を進めていくように努めます。「数と計算」では、基礎的な計算方法の理解に課題が見られました。サプリタイムを活用して、反復練習に努め、計算力の向上につなげていきます。

学力検査のほかに、学習・生活習慣についての「児童質問紙調査」も実施され、以下のような傾向がわかりました。

好ましいと考えられる項目	課題と考えられる項目
<ul style="list-style-type: none"> ・起床・就寝・食事・家庭学習といった基本的な生活習慣が身についている。 ・将来の夢や目標をもっている児童が多い。 ・算数の授業が楽しい。 ・算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感が低かったり、学校へ行く楽しさを十分に感じられていなかったりする児童がいる。 ・地域や行事に対する関心や、人の役にたちたいという意識が低い。 ・読書や新聞を読むことに対する関心が低い。

結果を受け、今後も考えたことをまとめたり、発表し合ったりする、児童が主体となって学習する授業の工夫に学校全体で取り組んでいきます。また、児童の「分からない」「できない」といった気持ちを受け止め、受容的に対応するとともに、授業の中に児童同士が相互に教え合う時間を設け、お互いに「教えて」と言い合える協調的な人間関係を育てていきます。お家の方には、今後とも、子どもたちの健康管理と家庭学習への環境整備、確認や声掛けなどのご協力をお願いいたします。